

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	学校給食のセンター化事業		担当部署	教育委員会 教育総務課(室)	
総合計画体系			根拠法令計画など	学校給食法・衛生管理基準	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="21"/> 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期
(小項目)	教育行政				
施策	1	教育行政の充実			
基本事業	5	学校給食の充実と食育の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 市内各小中学校に設置している単独調理場で調理し、自校および隣接する幼稚園に提供している自校調理方式による給食の提供方式をセンター調理方式とする。
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	今後も引き続き安全・安心な給食を安定的に実施するためには、給食の提供方式を現在の自校調理方式から共同調理方式へ移行することが望ましいと判断し、学校給食衛生管理基準等に適合した新たな新給食センターを市内に建設する。
成果目標	事業目標の達成度合	指標名 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 単位 新給食センターの建設 基本構想の策定 基本設計の策定 実施設計の策定 本体工事に着手

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	今後の指針となる給食のセンター化についての基本構想を策定した。 基本設計策定後は、保護者及び関係者を対象として、各中学校において説明会を開催し、給食のセンター化についての意見・要望の集約を行った。 また、周辺の住民への説明会を実施した後に、大津町備前島の旧農業センター跡地を最終候補地として選定した。				
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名 23年度実績 24年度実績 25年度目標 26年度目標 27年度目標 単位						
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 予定地周辺住民、保護者、関係者への説明	○	保護者、関係者への説明			
	2 実施設計・整備工事		基本設計の策定	実施設計の策定	本体工事に着手	
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	新給食センターの建設	○	基本構想の策定	-	-	-
	目標達成率(実績/目標)		-	-	-	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	0	0	32,000	0	2,152,460	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		142,228
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	24,000	0		1,495,100
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	0	0	8,000	0		515,132
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		6,721	6,721	6,721	6,721	6,721	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		6,721	6,721	38,721	6,721	2,159,181	千円	

【事務事業名:学校給食のセンター化事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	基本設計を策定し、実施設計に着手する予定。また、事業用地の地質調査を行う。 新給食センターで使用する食器・食缶等の選定を行い、保護者、関係者への説明会を開催する予定。 現在の自校調理方式に対応した、アレルギー児への対応マニュアルを策定する予定。 周辺住民への説明会の際に要望のあった、①給食センターへの進入路の整備②用排水路の整備③旧大津中学校の取り壊しの3点、及び、建設候補地の南部が「活断層の調査を推奨する区域」に指定される予定であることについて、庁内検討会を開催し、関係部局と協議のうえ、対応策を検討する予定。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 教育行政の充実 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	基本設計及び実施設計の策定にあたり、周辺の住民への説明会を実施した際に要望のあった事項、及び、建設予定地の南部が「活断層の調査を推奨する区域」に指定される予定であることなどの課題がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 月末定 ▼			
	どのように改革するのか	課題解決に向け、庁内検討会を開催し、関係部局との協議のうえ、対応策を検討する。そのうえで、再度、関係者への説明会を開催する予定としている。			